



Title	本研究会の活動（2009年10月～2010年3月）
Author(s)	
Citation	詞林. 2010, 47, p. 52-52
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67614
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

本研究会の活動(2009年10月～2010年3月)

第214回10月31日(土)

『古今集』における「事」

―仮名序「ことの心」を視座に―

入内屏風和歌享受の位相

―中世勅撰集において―

第215回11月7日(土)

『太平記鈔』『徒然草寿命院抄』と『謡抄』

―謡曲註釈の利用と中世最末期の学問の一隅をめぐって―

坂本 正博
細川知佐子
野上 潤一

第216回12月12日(土)

『とはすがたり』の後深草院

―巻四「人目にも」「こはいかに」などおぼゆる御もてなし
もなく」の解釈をめぐって―

『源氏物語』における「岩根の松」について

―賀歌の変容―

第217回1月30日(土)

『讃岐典侍日記』下巻考

―香隆寺参詣記事を手がかりとして―

『伊勢物語愚見抄』が捉える〈昔物語の本意〉

丹下 暖子
木下 美佳
白 雨田

第218回2月20日(土)

内部徴証による『太平記鈔』日性編者説の再検討

―『太平記鈔』生成の一端と法華宗僧の学問の一隅をめぐって―

第219回3月13日(土)

与謝野晶子の短歌に投影した『源氏物語』

―「薪こり菜摘み水汲み…」の歌の場合―

『南朝公卿補任』の史料性

野上 潤一
宮本 正章
勢田 道生